

高次元経営 **実践** 勉強会

2026 年

— 本物の「思考力」が人間の価値を不動にする —

第Ⅶ期

強固(確か)な「土台」を造り、「柱」を立てる(建てる)  
そして  
確かな家を創り、これを継承する。  
その為に  
組織の【**抜本革新**】を図る!

『本物の思考力』は  
信頼の **[要]**

『本物の思考力』が、  
最大の **[武器]**

いよいよ!

**乱世、最終段階!!**

これまでの、当たり前の **[商品・サービス]**

その奥に在る、新しい価値の創造

『本物の思考力』は  
この **[実践勉強会]** で

『本物の思考力』(志)  
これからの **[創造力]**

※ 本物とは、  
普遍性・高さ・広さ、そして、深さを持つ  
**[ 高い価値観 ]**

(旧・K アライアンス)  
 K・有機体システムパートナー  
 同志手帳の開放を参考に、  
 自社の同志手帳を創る



前程補講	第1講の為の前講 (問題・課題・宿題)
第1講 5月26日(火)	現在の問題(不安・不信・関係性希薄・等々)の特定 現・理念・目的の開示(共有)
(補講1)	第2講の為の補講映像配信 (予定)
第2講 7月24日(金)	理念・目的の抜本革新 これまでの理念・目的を止揚する
(補講2)	第3講の為の補講映像配信 (予定)
第3講 9月25日(金)	有機体人事制度 I
(補講3)	第4講の為の補講映像配信 (予定)
第4講 11月19日(木)	シン・理念・目的からの問題特定
(補講4)	第5講の為の補講映像配信 (予定)
第5講 1月15日(金)	この一年の振り返り 気付き・革新・行動・結果・・・(フォーラム発表者)

※予定(スケジュールや講義内容)は、①講師の健康状態や、その時の②社会情勢、金融事情、もしくは③受講生からの感想文や質問内容に等によって、講師が必要と判断したテーマに変更になる場合がございます。予め、ご了承ください。

Kより

理念・ビジョン・  
目的・戦法・戦術・  
数値目標と定性目標 等々  
まだまだ色々…

それらの全体と、  
その構造を、まず、  
学び直すところから  
始めましょう!!

## 第7期本編参加要項

### ■会場 大名カンファレンス

福岡大名ガーデンシティ・タワー4階 <https://daimyo-conference.jp/>  
福岡県福岡市中央区大名2丁目6-50 (ザ・リッツカールトン福岡隣)

### ■タイムスケジュール

12:55～インフォメーション  
13:00～13:40 (40) 第1限目  
14:00～14:40 (40) 第2限目  
15:00～15:40 (40) 第3限目  
16:00～17:00 (60) ダイアログ/もしくは「補足講義 (この場合は30分程度)」  
※休憩は各20分

### ■参加料 年間 110,000円(税込)

全講義・全講義資料・アーカイブ配信 (期間限定)・ダイアログ・補足動画配信 含む

### ■必須条件 途中参加の場合も第1講から視聴し、必ず感想文をご提出ください。

### ■講師 K・有機体システムパートナー メンバー/ 税理士 楠本浩之

### ■お申込み方法

URL: [https://nipponteki.com/high-dimensional\\_vol7/](https://nipponteki.com/high-dimensional_vol7/)

お申込み受付後、メールにてご請求内容をお送り致します。

(お申込みページで、クレジット決済・銀行振り込みのどちらかをお選び頂けます)



※**特別篇**を開催致します。こちらは**別途お申込/受講料 (38,500円税込) が必要**です。

特別篇	特別講義
6月26日(金) 妙見閣寺にて	対象者：第7期高次元経営実践勉強会 受講生のみ —限定50名— (最低催行人数 25名 お申込み期限 6月10日まで)

### ■主催 一般社団法人 日本的経営研究会

福岡市中央区天神3-1-1 フタ・ザ・フラッグ 8F 税理士法人統合経営システムパートナー内

TEL 092-724-0110 e-mail : [info@nipponteki.com](mailto:info@nipponteki.com)

**私は**心の底から、我がパートナーメンバーを信頼・尊敬しております。

しかも、完全に、であります。「そんなあ〜?」と思われませんか。そうです。私は我がメンバーが「能力」がある、とか、「人格」が立派とは申しておりません。むしろ逆であります。私を含めて、大した者は居ません。しかし、それなりに能力のある者は、ある者として、無い者は無いからこそ、尚、立派だなあ〜と、心打たれる訳です。それは、現実を直視し(見たいように見るのではなく)、**自分でものを考え、そして自ら行動に出て、そしてまた、その結果を責任をもって直視し、そして、これを「開放」し、この問題・欠点・弱点・恥部を巨大な成長という価値に変える。**そんな生き方を、日々、全力で生きている。その姿を見て、「この人」が、成長しない訳がない。私はこの人を尊敬しない訳にはいかないのです。失敗し、忙しさに心を奪われ、躓き、ころんでも、仲間に支えられ、理念・目的から勇気もらい、また、仲間たちと共に目的に向かって、また、懸命に歩き始める。

この強かさ。しなやかさ。

そんな仲間にもまれて、これ以上の幸せな日々があるのかと…

私も、このメンバーと共に歩きたい。歩かせてもらいたい。

そう思った時、それが分かった時、

これまでの立場・肩書・報酬、そんな全てを手放し、次に進む。より大きな責任を取るべく、次の梯子に手を掛けるべく、今、握っているモノを放しました。

人間というものの、逃れ難い**不確かさ、危うさ、そして、不完全さ。**これを誰よりも認め、これを受け容れ、これと向き合い続ける。

それが「統合」であり、「システム」であり、「有機体」であり、この世の万物(あらゆる全て)、最小から最大までのこの存在の実体は「空」であり、故に、それが、それこそが「関係性」による「存在」を約束・保証しているという事実だからです。

(高次元経営実践勉強会では、その切っ掛けとなった「時」・「事」等々は、改めて詳しくお話します。)

K・有機体システムパートナーのメンバーが、次のステップに向かう上で、今、足りないものについての原因・責任が私にある。

私が去る事で、この共同体が育つ。

そして、それはそのまま、無意識に逃げていた私の次の挑戦をメンバーが後押しする為に、その自らの足りなさを眼前に問題として現してくれた。つまり、相互の関係性が私の退職、これまで握っていた全てを手放す事をもって、新しく掴むべきものをお互いに掴みに行く…「そのような関係性が生んだ」というのが、この事実の背景であります。

「こうだから!」「ああだから!!」ではなく、**必然**であり、**自然**であり、**法・原則のまま**、という事であります。

ただ、新しいK・有機体システムパートナーは、より強靱に・強固な組織となり、大きく社会に貢献していく事になるのは、明白であります。